

カードゲーム「鯉」のあそびかた

プレイ人数:2人

このゲームでは、「親方」・「漁夫」・「ニシン」・「海」・「龍神様」の5種類のカードと群来コイン、借金コインを使ってあそびます。ここでは基本的なあそび方を紹介しています。ゲームに慣れてきたらルールを加えたりして、自分だけのあそび方を考えてあそんでみましょう。

ゲーム名の由来:「カド」とは実際は「堅」と書き、昔のニシンの呼び方です。道内ではニシンのことを「鯉」ではなく「鯉」とも書いていたことから、実際の漢字とは違いますが、この名前をつけました。

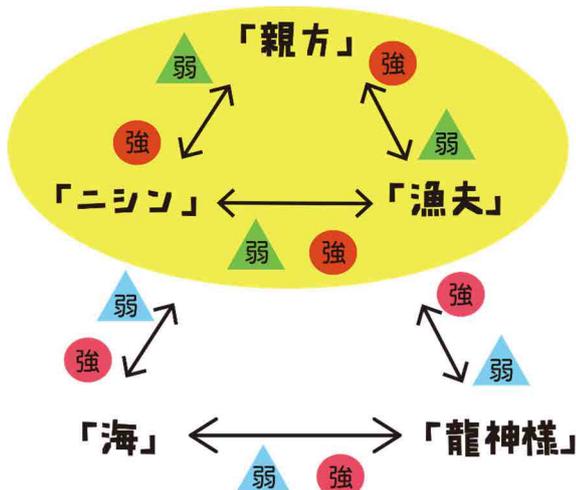
●ゲームの準備

カード(表)(裏)を2人分印刷し、切り取ります(両面印刷だと絵柄が透ける可能性がある)ので、表裏でそれぞれ印刷し、間に厚紙をはさんで両面に貼り付ける作り方がおすすめです。

プレイヤーはそれぞれ、「親方」・「漁夫」・「ニシン」・「海」・「龍神様」カードを1枚ずつ手札として持ち、借金コイン3枚(1枚2,000万円の借金で、合計6,000万円の借金)を所持します。

●基本的なゲームの進め方

プレイヤーは手札からカードをそれぞれ1枚、裏面にして場に出します。お互いのカードが出そろったら、カードを表にします。下の図を参考に、勝ち負け又はいこになり、勝者は敗者に借金コイン1枚をわたし、使用したカードは場に捨てます。あいこの場合はお互いに何もしません。また、「龍神様」カードで相手のカードに勝利したプレイヤーは群来コイン(+1億円)を1枚ゲットし、自分の借金を減らすことができます。5回勝負して、最後に借金が多かったプレイヤーの負けです。ゲーム途中で借金が0になった場合は、その時点で勝利となります。



		自分が出したカード				
		親方	漁夫	ニシン	海	龍神様
相手が 出した カード	親方	△	×	○	○	×
	漁夫	○	△	×	○	×
	ニシン	×	○	△	○	×
	海	×	×	×	△	○
	龍神様	○	○	○	×	△

○=勝ち ×=負け △=あいこ

ざっくり用語解説

親方：漁場の経営者（社長）

漁夫：漁場で漁をする人（社員）

ニシン：ニシン漁が盛んだった頃のニシンは、多くが肥料として本州に出荷されました

海：日本海

龍神様：大漁と水の神様です

借金：最初に多額の借金をして漁をはじめます。億万長者になる漁場も、没落する漁場もありました

群来：たくさんニシンがとれる状態で、海が真っ白になります

おやかた
親方



つよ ぎよふ りゅうじんさま
強い→漁夫、龍神様

よわ うみ
弱い→海、ニシン

ぎよふ
漁夫



つよ りゅうじんさま
強い→ニシン、龍神様

よわ おやかた
弱い→海、親方

借金

- 2,000 万円

借金

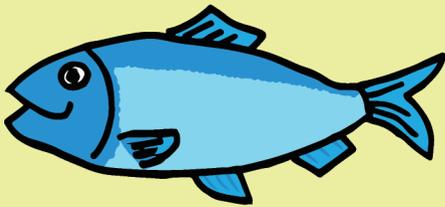
- 2,000 万円

借金

- 2,000 万円

くき
群来
+1 億円

ニシン



つよ おやかた りゅうじんさま
強い→親方、龍神様

よわ うみ ぎよふ
弱い→海、漁夫

うみ
海



つよ おやかた ぎよふ
強い→親方、漁夫、ニシン

よわ りゅうじんさま
弱い→龍神様

りゅうじんさま
龍神様



つよ うみ
強い→海

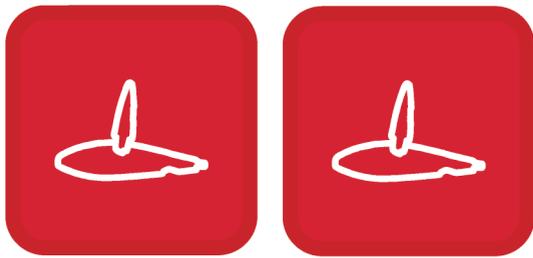
よわ おやかた ぎよふ
弱い→親方、漁夫、ニシン

勝ったら
ゲット!!
くき
群来
+1 億円

カード〈表〉

余市町には
福原漁場という
ニシン漁場があるよ





カード 〈裏〉

余市町には
福原漁場という
ニシン漁場があるよ

